

# 神社のこと もっと教えて

## Q 人生儀礼って？

A 人生の節目の  
大切なおまつりです。

人が生まれ、一生の間に訪れる人生の節目に行う大切な神事のことです。初宮参りからはじまり、七五三詣、合格祈願、厄除、成人式、結婚式、安産祈願、還暦や古稀などの長寿の祝いまで多数あります。

### 令和7年 厄年表 (数え年)

	前厄	本厄	後厄
男性	24歳 平成14年生・午	25歳 平成13年生・巳	26歳 平成12年生・辰
	41歳 昭和60年生・丑	42歳 昭和59年生・子	43歳 昭和58年生・亥
	60歳 昭和41年生・午	61歳 昭和40年生・巳	62歳 昭和39年生・辰

	前厄	本厄	後厄
女性	18歳 平成20年生・子	19歳 平成19年生・亥	20歳 平成18年生・戌
	32歳 平成6年生・戌	33歳 平成5年生・酉	34歳 平成4年生・申
	36歳 平成2年生・午	37歳 昭和64年/平成元年生・巳	38歳 昭和63年生・辰

後厄の翌年は無事に過ごせたことに感謝して「厄明け御礼」のお参りをします。

### 身祝い (男女共・数え年)

還暦(61歳)	昭和40年生・巳	米寿(88歳)	昭和13年生・寅
古稀(70歳)	昭和31年生・申	卒寿(90歳)	昭和11年生・子
喜寿(77歳)	昭和24年生・丑	白寿(99歳)	昭和2年生・卯
傘寿(80歳)	昭和21年生・戌	上寿(100歳)	大正15年/昭和元年生・寅

### 七五三

年齢	数え年	満年齢
7歳 女	平成31年/令和元年生・亥	平成30年生・戌
5歳 男	令和3年生・丑	令和2年生・子
3歳 男女	令和5年生・卯	令和4年生・寅

数え年とは生まれた年を「1歳」とし、お正月を迎えるたびに、1つずつ年齢を重ねる伝統的な数え方です。

神社は、身体の“厄”を祓うとともに、心身の環境も整える場所です。お正月をはじめ季節や人生の節目にはお参りし、神さまに守られ、導かれていることへの感謝やこれからの健康などをお祈りするものが伝統です。

## Q 厄祓・身祝いの

ご祈願を受ける時期は？

A 正月から節分が目安です。

社会・生活環境の変わり目でもあり、体調不良が重なりやすいと言われる厄年。一般的には1月1日～2月4日の間に神社で厄祓いを受けますが、地域によりますし、お参りしやすい季節に家族で出かけても良いでしょう。厄年期間は普段以上に心身の健康にご留意を！

## Q ご祈願を受ける際に 準備するものは？

A 祈願料とお酒等が必要です。

参拝予約や持参品は神社により異なりますので、事前にお問い合わせください。〔初穂料とお供えのお神酒（清め・祝いの意味として）・鏡餅等〕

神さまへのこれまでの感謝とこれからのことを祈るため、上着や襟がある服装で、ジーンズなどの軽装は避けましょう。

## Q 祈願料の「のし袋」 お酒の「のし紙」の書き方は？

A 祈願料は「初穂料」または「玉串料」、お酒は「奉納」「奉献」「献酒」等です。下には名前を書きます。



その他色々な祈願については、地元の神社の神主さんに直接、お気軽にお問い合わせください。写真やイラストはイメージで一例です。

発行/富山県神社庁



しめかざり・注連飾り・しめ縄注連縄〔つな〕  
年神さまをお招きするために大掃除を終え、“清浄な家”であることのしるしとして玄関に飾ります。神棚の「しめ縄」も毎年、新しく取り替えます。



### 天神様

富山県ではお正月(12月25日～1月25日)に学問の神さま菅原道真公をおまつりします。



### 門松

年神さまが降りてこられる際の目印として、玄関の両脇に立てます。

# お正月飾り

保存版

神主さんに聞いた

ご自由にお持帰りください

令和7年の干支は巳



### 鏡餅

家にお迎えした年神さまへのお供え物で、年神さまが宿る神聖な餅。1月11日の「鏡開き」に下げ、雑煮やおしるこにして食べて神さまのお力をいただきます。

## Q なぜお正月飾りをするの？

A 年神さまを歓迎するためです。

年神さまとは、新たな一年を生きる力と恵み・幸福をお授けくださる神さまです。自然をはじめ暮らしのあらゆるところに神さまがお宿りになり、人々をお守りくださっています。「八百万」の神さまがいらっしゃる日本。八百万とは「無数の」という意味です。ひとつひとつのお正月飾りの意味を知り、神さまをお迎えする準備を整えましょう。

## Q 初詣はいつまでに行くのがいいの？

A

まず家の神棚のお神札を新しく取り替えてお参りし、地域の神社〔氏神さま〕へは三ヶ日、遅くとも小正月(1月15日)までが目安です。

“初詣”とは一年のはじまりの神さまへのごあいさつ

お正月がくる前に家の内外をきれいにして、年神さまをお迎えすることで運気を良くします。元日の「初詣」は「家の神棚」にお参りするところから始めます。

その後、あなたの守り神である地域の神社へ参拝に行きましょう。

氏神さまは、[富山県神社庁のHPで検索できますよ！](#)

ネット検索や二次元コードで  
自分の氏神さまを確認！

富山県神社庁 氏神神社



## Q お正月飾りの取り外しは？

A

「松の内」(1月7日)、「鏡開き」(1月11日)  
「左義長」「小正月」(1月15日)などが目安です。

**左義長** 一年間お守りいただいた神さまに感謝を込めて

一年間おまつりしたお神札やお守り、破魔矢・熊手などの縁起物、お正月飾りは感謝を込めて神社にお納めし、清浄な火でお焚き上げていただきます。地域によって行われる日が異なったり、お焚き上げできないものがあつたりするので、地域の神社にお問い合わせください。



## Q お神札とは？種類と受け方は？

A

お神札は家や家族全体のお守りです。

必須なのは伊勢神宮のお神札「天照皇大神宮」で、他には地元の神社である氏神さまのお神札、個人的に崇敬する神社のお神札をおまつりします。

富山県では、お神札は住んでいる町内で頒布されることも多いです。回覧板などでお知らせをチェックしてみてください。もちろん初詣で受けてもOKです。まずは地元の神社でお神札を求めましょう。氏神さまは、[富山県神社庁のHPで検索できますよ！](#)

## Q お神札をおまつりする場所は？

A

明るくきれいな部屋の目線より高い位置で南または東向きにおまつりします。

リビングなどの明るい部屋が好ましいですが、扉の前などおちつかない場所は避けるなど神さまへの敬意をもっておまつりしましょう。方角などは、家の造りもあるので絶対ではありません。神棚は神社の建物を小さくした宮型、壁掛け式や洋室向けなど種類も多彩。好みに合わせて大きさやデザインを選んでOKです。神棚は神具店・ホームセンター・インターネット通販で購入できます。



一社宮  
コンパクトな神棚。お神札を重ねる場合は「天照皇大神宮」が手前で後ろに地元の神社、崇敬する神社となります。



三社宮  
扉を3つもつ三社宮。お神札をまつる場所がそれぞれあり、大きなお力を宿す日本人の総氏神さま「天照皇大神宮」を中心におまつりします。



神具付きモダン神棚 画像提供：神棚の里 静岡木工

### お神札をまつる時に必要なものは？

お神札をまつる際は、米や酒、塩、水などをお供えし、左右に神を立てるのが一般的ですが、神棚やスペースに合わせて調整が可能です。

### 神棚がまだない場合はどうすればいい？

タンスや本棚の上、棚やサイドボードなど部屋の高い位置に白い紙を敷いてお神札をおまつりする方法もあります。形にこだわらずにできることから始めてみましょう。

